檄 一

武蔵野鍛の経業免許焉

許焉の兄弟である宣傳師の具藤耐吾郎焉と表方の相照院の安焉は此月末に首を切られてしまった説明書には給料を半分に減らされてしまったこれは許焉のよく知ってゐることだ。許焉現在の日本には三百万に近い失業者があり其の家族をこゝはせて一千万人位が現在失業と飢餓の死の海に苦しんでゐるのだ。こんな時には首を切られるのは死刑の宣告を受けると同じ事ではないか一ヶ月や二ヶ月の八十分ほどの拝産手当は焼石に水ではないか

ところが許焉異常に日の札付きの拝望月深悟や春日かつ出して何のとなく交渉をやってくらくみんきな所引をしてゐる其の為に拝産は此月末にあった松竹産テエーこのトア・ホーイの首切を不当にして賀茂家から沢山の紹介賀用を貰ひ十数人のトフホーイの死刑宣告を承にんしてこの紹介を賣り渡してしまやかった之れを云ふのも松竹産チエーこの兄弟達が高橋して現在賀茂家を手分きをかつつからなかったからだ賀茂家は其事を吹きまくる強情怒慌を逃れるために許焉の首を切ったり給料を減らしたり労働を一層ひどくしたりして吹き立てゝ言ふや言はずに許焉を失ひどくすチメるのだ許焉がたまって云ひなりになってゐると とんでもないひどく目にあふて サア許焉機械場をも完全に説明書にも音楽書にも紫色書にも又人を集まって許焉の兄弟の復職を出張してそれをまとめ其の上許焉がまってゐる日頃の日平ふ場をフチマケ立て一とまとめにし吾々から代表を選んで要求書を作り強悪賀茂家にタンキ付けり許焉の日頃の不平ふ場には二千余料一四一円の手当を出させることもあらうし男女の進出の手当を取ることも婦人要求の係の有給の生理休暇等を取ることも今の所にいろくあるであらう其れを又人を要求書に書き込むのだ

今の要求書をつきつけると賀茂家は其れを八ネつけるかもしれない其の時には代表者は各々へ行くて皆のことを若し直く能全体の機関大会を見いて又トライキを決議し又トライキ要求を選出して直ちに又トライキを決行するのだ許焉の強い平平と固い高橋とは許焉を猛烈に進まい